



千曲市議会だより

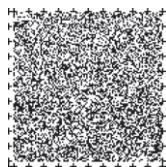
No.74

3月議会

令和2年5月1日発行

みんなの議会

森のスケッチパーク



3月定例会 **CONTENTS**

議案審議結果一覧	P 2
委員会報告	P 6
一般質問（代表）	P 8
一般質問（個人）	P 15

議案番号	件名	結果
議案第17号	令和2年度千曲市介護保険特別会計予算の議定について	○
議案第18号	令和2年度千曲市後期高齢者医療特別会計予算の議定について	○
議案第19号	令和2年度千曲市下水道事業会計予算の議定について	○
議案第20号	令和2年度千曲市水道事業会計予算の議定について	○
議案第21号	市道路線の廃止について	○
議案第22号	人権擁護委員候補者の推薦について	○
議会第2号	千曲川の河床掘削を含めた管理の徹底を求める意見書(案)	○
議会第3号	医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める意見書(案)	○
議会第4号	ながの子育て家庭優待パスポート事業中、母子家庭世帯に手厚くなる支援策を求める意見書(案)	○

継続審査となった議案

議案番号	件名	結果
議会第1号	千曲市部落差別の解消の推進に関する条例制定について	－

陳情・要望審査結果一覧表

番号	件名	陳情・要望者氏名	結果
陳情第1号	医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める陳情	長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林 吟子	採択
陳情第2号	ながの子育て家庭優待パスポート事業中、母子家庭世帯に手厚くなる支援策を求める意見書提出に関する陳情	山本 愛佳 外1名	採択

議案…27件 請願・陳情等…2件 計 29件

採決の分かれた議案、及び意見書の詳しい内容については市議会のホームページをご覧ください。



注目!

令和2年度千曲市当初予算一般会計263億8,000万円

主な事業として、一重山2号線道路整備に1億円、災害意識啓発を推進する「防災ガイドブック」の全面改訂に1,100万円を計上し、ほかに市内防犯灯のLED化推進でCO₂削減を目指す事業、小学生のインフルエンザ予防接種助成事業、八幡東産業団地の企業立地推進事業などがあります。

3月定例会 (2月25日～3月16日)

令和2年度一般会計及び特別会計の予算案を可決

3月定例会では、千曲市一般会計予算を含む27件の議案と、陳情2件を審議しました。

本定例会において、屋代高等学校に通う高校生から出された、ながの子育て家庭優待パスポート事業中、母子家庭世帯に手厚くなる支援策を求める意見書提出に関する陳情を全会一致で採択、併せて意見書(案)の議案も全会一致で可決しました。

議案審議結果一覧

採決結果：○全会一致で可決・同意・認定 ○賛成多数で可決

議案番号	件名	結果
議案第71号	更埴体育館外5施設の指定管理者の指定について	○
議案第1号	千曲市公共施設等総合管理基金条例制定について	○
議案第2号	千曲市職員の服務の宣誓に関する条例の一部を改正する条例制定について	○
議案第3号	千曲市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について	○
議案第4号	千曲市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	○
議案第5号	千曲市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例制定について	○
議案第6号	千曲市戸倉コミュニティセンター条例を廃止する条例制定について	○
議案第7号	千曲市姨捨観光会館条例の一部を改正する条例制定について	○
議案第8号	千曲市営住宅条例の一部を改正する条例制定について	○
議案第9号	地方自治法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について	○
議案第10号	令和元年度千曲市一般会計補正予算(第7号)の議定について	○
議案第11号	令和元年度千曲市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)の議定について	○
議案第12号	令和元年度千曲市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)の議定について	○
議案第13号	令和元年度千曲市下水道事業会計補正予算(第3号)の議定について	○
議案第14号	令和2年度千曲市一般会計予算の議定について	○
議案第15号	令和2年度千曲市国民健康保険特別会計予算の議定について	○
議案第16号	令和2年度千曲市同和対策住宅新築資金等貸付事業特別会計予算の議定について	○

○令和2年度千曲市一般会計予算の議定について

反対

中村 了治 議員

賛成

倉島さやか 議員

市は、台風19号被災の復旧復興予算として来年度総額79億3千万円程を組み、「千曲市気候非常事態宣言」を発し、市も子育て支援策等を推進してお評価できる。しかし、日本共産党市議団が長年要望してきた国保特別会計への一般会計からの法定外繰り出しは今年もされていない。私達が行つたアンケート調査でも生活が苦しい原因の1位は「国保税が高い」であった。経済不況に加え新型コロナウイルスの影響も加わり、市民生活が深刻な打撃を受ける。だからこそ一般会計から国保会計への繰り出しを断行すべきである。よつて本予算に賛成できない。

台風災害からの復旧復興を最優先に、千曲市の未来につなげるため編成された予算の総額は263億8千万円を計上し、昨年度比8.8%の増となつている。「復旧・復興」「産業の振興」「子育て支援の推進」「健康・福祉施策」「市民とともに歩む市政」「オンラインピックパラリンピックのホストタウン事業」と7項目の重点施策を上げている。

財政状況については、大型事業の完了により「将来負担比率」は45.5%となる。将来世代につけを残さない財政運営を望む。市債については、臨時財政対策債を7億5千万円発行する事としており、厳しい構成となつてはいる。市長職員一丸となつた行政経営を期待する。

○令和2年度千曲市国民健康保険特別会計予算の議定について

反対

齋藤 正徳 議員

千曲市国保の滞納世帯は563世帯で加入世帯の7.7%を占めている。協会けんぱの2倍にもなる保険税で、生活費を優先すると払えない世帯が出てる。全国知事会からも「1兆円の公費負担増、子どもの均等割負担軽減」の要望が国に出されている。

千曲市の短期保険証発行は104世帯に上るが、長野市では収入が150万円以下の世帯に短期保険証の交付はしない。今千曲市ができるべきことは「法定外繰入れ」を行い、子どもの均等割引き下げの独自減免措置などの国保底上げを図ることである。

市民が払える額の国保税にするために「一般会計からの法定外繰入れ」実施を求めて議案第15号に反対する。

質疑とは、議題となつてある案件について、賛成または反対の意見である理由を述べ、自分の意見に賛成・同調することを他の議員に求めることです。

○千曲市部落差別の解消の推進に関する条例制定について

反対

中村 了治 議員

なぜ市民の声も聞かず、議会でも調査研究が全くされないままに制定させようとしているのか。

すでに平成28年に国で施行されているので改めて市民の声を聞くことや議会が調査研究をする必要はない。

だれが差別と判断するのか。

北川原 晃 議員
恣意的であろうとなかろうと受けた側が差別を感じれば差別である。悪用した行為は第三者が判断する。

中村 了治 議員
だれが差別と判断するのか。

北川原 晃 議員
恣意的であろうとなかろうと受けた側が差別を感じれば差別である。悪用した行為は第三者が判断する。

中村 了治 議員
だれが差別と判断するのか。

北川原 晃 議員
恣意的であろうとなかろうと受けた側が差別を感じれば差別である。悪用した行為は第三者が判断する。

○福祉環境常任委員長報告について

問

宮入 高雄 議員

議会第1号千曲市部落差別の解消の推進に関する条例制定について、担当の人権・男女共同参画課の意見はどのようなものだったのか。

答

前田きみ子 福祉環境常任委員長

市民の福祉増進、幸せ、豊かさを図り地域における行政を技術的かつ総合的に実施することが行政の役割。寝た子を起こす論は、無知・無関心を招き結果として差別に加担し容認する人々を作り出してしまう。部落差別の解消の推進に関する法律及び千曲市差別撤廃人権擁護条例、第3次人権と暮らしに関する総合計画に基づき課題の解決に向けた人権教育及び人権啓発に関する施策を推進しておられ、部落差別を根絶させる目的達成のため今後も市は努力していく。また市民一人一人が自分事として部落差別をなくすために何ができるかを考え行動していくことが求められていると考える。

特別委員会中間報告

3月定例会において特別委員会へ付託されている事項についての中間報告を行いました。

企業等誘致推進特別委員会

当委員会の付託案件は、いずれも迅速かつ積極的に取り組む必要があるため、昨年6月定例会以降、4回にわたる委員会の開催と北海道1市2町への視察調査を実施した。

まず、昨年提出した「企業誘致推進及び学校等の誘致に関する提言」について、市の所見と誘致業務の推進、執行上の留意点等について聴取した。副市長からは、提言どおりスピード感とタイミングを重視して企業と交渉している旨の報告があつた。大型商業施設等の誘致に関しては、交渉の経緯と現況及び実務の進捗状況、当面の課題及び実務の見通し、スマートインター（エンジニアリング）設置に関する国交省との協議、また、地権者対応や府内調整の状況及び、都市計画道路「一重山線」の整備方針等について聴取した。

雨宮の大規模物流施設の誘致に関しては、昨年7月の委員会にて、当該地域は水害常襲地帯であるため相応の防災対策について提示するよう強く要請したが、直後の東日本台風により、浸水被害に遭ってしまった。この度の浸水区域の復旧方法や、



▲視察調査の様子

開発事業者に対する支援策については、長期的な展望を持つて、市も当事者として対応するよう要請したところである。高教機関の誘致についての市の所見と今後の方途、方針等について質す中で、誘致が総合計画に明記されているにも関わらず、遅々として進まない状況に苦言を呈した次第である。企業等の誘致は、千曲市の大きな政治課題があるので、引き続き市側の執行状況を確とチェックし、誘致実現に向けた活動を強化する。

◆◆ 福祉環境常任委員会 ◆◆

委員会開催日：3月9日
議案11件と陳情2件の審査と所管事項調査

○議会第1号 千曲市部落差別の解消の推進に関する条例制定について

【採決結果】

継続審査が賛成多数となり、継続審査すべきと決定

○議案第10号 令和元年度千曲市一般会計補正予算について

問 グラウンド復旧整備工事請負費はどのような工事か

答 グラウンド整備工事と残土処理工事で土を入れ整備、舗装する。4月末までの事業である

【採決結果】

全会一致で可決すべきものと決定

○議案第14号 令和2年度千曲市一般会計予算の議定について

【討論】

反対 低所得者にとって国民健康保険税の

負担は大きく、一般会計から、国保に繰り出しがないため反対

賛成 防犯灯のLED化、子育て支援策「地域包括ケアシステム」の事業展開をしていることから評価し、賛成

【採決結果】

賛成多数で可決すべきものと決定

○陳情第1号 医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める陳情について

【採決結果】

賛成多数で採択すべきものと決定

○陳情第2号 ながの子育て家庭優待パスポート事業中、母子家庭世帯に手厚くなる支援策を求める意見書提出に関する陳情について

【採決結果】

全会一致で採決すべきものと決定

▶▶ 委員会報告 ▶▶

3月定例会で提案された議案は、各常任委員会に付託して審査を行いました。主な質疑と審査結果です。

◆◆ 総務文教常任委員会 ◆◆

委員会開催日：3月6日
議案7件の審査と所管事項調査

○議案第14号 令和2年度千曲市一般会計予算の議定について

問 市民税が伸びているが、法人税は減っている。感染症や浸水被害の影響等あるが固定資産税増税の考えは

答 法人税は税率が9.7%から6.0%に税率改正されて減る見込み。それに係る補填分が法人事業税交付金である。固定資産税は企業の設備投資が比較的好調であったことから、償却資産を前年度より多く見込んだ

問 新年度の魅力あるまちづくり基金は、一定の制約や縛りがあるのか

答 この基金は、1市2町が持ち寄った基金と合併特例債を原資に積み立てた21億円、ふるさと納税の3つから構成され、特例債原資分は合併の効果が上がる事業に使う。今回はふるさと納税分を予算化した

問 復旧・復興で財政は非常に厳しいが見送った事業は。本予算の稼ぐ事業は。やりくりした事業は

答 災害のため有利な起債や補助金を活用し、更埴庁舎取り壊しを見送った。大型の開発は今必要な予算をつけた

問 総合防災訓練費について、昨年の大きな台風を受け、工夫してほしい

答 内容の見直し、充実を考えていく

問 水防費約870万円について、霞堤等への土嚢の準備は考えているか

答 水防に係る資材は更級川排水機場に1tの土嚢を備蓄、他の水門、排水機場には土嚢の備蓄はない。昨年の東日本台風災害から区長とも話し合い、市内10,000袋の20kg土嚢を排水機場に積む等使いやすい所へ備蓄の変更を検討する

【討論】 国民健康保険への法定外の繰り出しがないため反対

【採決結果】

賛成多数で可決すべきものと決定

◆◆ 建設経済常任委員会 ◆◆

委員会開催日：3月10日
議案8件の審査と所管事項調査

○議案第7号 千曲市姨捨観光会館条例の一部を改正する条例制定について

問 指定管理を市直営にする根拠は。人件費等管理費は市の負担か。飲食の提供は。観光会館は観光としてどのように考えるか

答 民間のノウハウで経費節減を図る指定管理制度だが、収益面等で管理が困難のため、市負担の直営にする。

飲食は一時休む。会館は姨捨観光の柱である。今後食の提供や指定管理制度で委託料の支払いも含め研究する

問 姨捨や棚田の関係者に活用していただき、観光案内や飲食の需要等の意見を聞き、考查すべきでは

答 用途変更も含め、皆様の拠り所や観光宣伝の場とし、アイデアをいただく

【採決結果】

全会一致で可決すべきものと決定

○議案第14号 令和2年度千曲市一般会計予算の議定について

(第6款 農林水産業費)

問 地域農政推進対策事業費の人・農地プラン作成委託料の詳細は

答 農地を相手に預けて農業を続けて頂く、将来実質的にどう進むか見極めてプランを作る費用である

問 協働の森委託料の詳細は

答 市内小学校の緑の少年団や関係団体が植樹祭で作業、体験学習会を年2回実施するための苗木等の費用である

(第7款 商工費)

問 ロケーションリース推進委託料の具体的な使途は

答 ロケ推進継続のための費用。協議会への負担金と200万円で市の宣伝映画を企業版ふるさと納税で作る

【採決結果】

全会一致で可決すべきものと決定



台風災害の早期復興と 千曲市の将来像

千曲政経会
代表 原 利夫



■19号台風による浸水被害の主たる要因と復旧策に対する市長の所見

問 杭瀬下周辺の浸水災害の主たる要因は露堤からの溢水だと市長は断定したが、国及び県も同一認識か。また露堤の管理機関はどこか。

答 職員からの報告、新聞報道、千曲川の水位等から断定したが、今後調査業務を委託して根拠を探る。露堤の管理機関は国交省千曲川河川事務所である。

問 露堤内に住居や事業所の設置を認可した行為は、露堤の役割りを逸するものである。市はこの地に長野広域のごみ焼却施設の設置を企てたが、それらについて、市長の素直な所見を問う。

答 現状では家屋の建築を法的に禁止できないが、今後国と協議する。市が日論など焼却施策については、承知していない。たぶん今回のような水害は想定していないかったと思う。

問 露堤が浸水被害の根源だと断定したからには、当該管理者に早急な改修を求めるべきだが、市長はいかなる処置

■市長が目指す千曲市の将来像とそれが実現に向けた道筋と手段を問う

問 市長が主導し「新たな千曲市の幕開け」と題して、選挙公約を加味して策定した総合計画に掲げた将来像は、「科野の国」はにしなさらしな史都がにぎわう信州の交流拠点千曲であるが、いまだに市民共通の合言葉になっていない。皆がこのスローガンを共有して行動を起すことが肝要だ。気品と風格を備えた千曲市の個性や市民のお国自慢を生んだシンボルを発見し、全市に定着させる大事は、市長の理念を問う。



▲河道に堆積した土砂で河床が高まり、溢水した千曲川

○施設方針令和2年度予算
付事業特別会計の移管等
同和対策住宅新築資金等貸付

■市長が目指す千曲市の将来像とそれが実現に向けた道筋と手段を問う

問 市長が主導し「新たな千曲市の幕開け」と題して、選挙公約を加味して策定した総合計画に掲げた将来像は、「科野の国」はにしなさらしな史都がにぎわう信州の交流拠点千曲であるが、いまだに市民共通の合言葉になっていない。皆がこのスローガンを共有して行動を起すことが肝要だ。気品と風格を備えた千曲市の個性や市民のお国自慢を生んだシンボルを発見し、全市に定着させる大事は、市長の理念を問う。

問 総合計画は目指す将来像の実現に向けた道筋と施策の大綱を定めた規範であり、遵守すべきは当然である。

■市長が目指す千曲市の将来像とそれが実現に向けた道筋と手段を問う

問 市長が主導し「新たな千曲市の幕開け」と題して、選挙公約を加味して策定した総合計画に掲げた将来像は、「科野の国」はにしなさらしな史都がにぎわう信州の交流拠点千曲であるが、いまだに市民共通の合言葉になっていない。皆がこのスローガンを共有して行動を起すことが肝要だ。気品と風格を備えた千曲市の個性や市民のお国自慢を生んだシンボルを発見し、全市に定着させる大事は、市長の理念を問う。

答 「まちづくりの主点は市民、まちづくりは市民のために存在する。これが私の理念である。将来像に関しては平成29年以来、施策の説明と確かに実な実行を遂行すると共に、様々な場面で将来像を説いてきたが、行き届いていないとすれば素直に反省する。共通の認識を深めることは市長の責務とのご指摘は仰せの通りである。この際議会の皆様にもお力添えをお願いする。

■19号台風による浸水被害の主たる要因と復旧策に対する市長の所見

問 杭瀬下周辺の浸水災害の主たる要因は露堤からの溢水だと市長は断定したが、国及び県も同一認識か。また露堤の管理機関はどこか。

答 職員からの報告、新聞報道、千曲川の水位等から断定したが、今後調査業務を委託して根拠を探る。露堤の管理機関は国交省千曲川河川事務所である。

問 露堤内に住居や事業所の設置を認可した行為は、露堤の役割りを逸するものである。市はこの地に長野広域のごみ焼却施設の設置を企てたが、それらについて、市長の素直な所見を問う。

答 現状では家屋の建築を法的に禁止できないが、今後国と協議する。市が日論など焼却施策については、承知していない。たぶん今回のような水害は想定していないかったと思う。

一般質問(代表)

会派を代表して
市長に問う！

日程	掲載頁	氏名	通告事項
3月2日(月)	9	千曲政経会 代表 原 利夫	1 19号台風による市街地の浸水被害の発生要因と復旧(改善)策 2 岡田市長が目標とする千曲市の将来都市像と実現させる為の道筋、基幹の施策等 3 総合構想・総合計画の見直し、及び業務推進上の問題点に関する件 4 施政方針演説と令和2年度予算 5 市と教育委員会と学校の相関概念並びに当面する懸案事項
3月2日(月)	10	日本共産党千曲市議団 代表 中村 了治	1 当面する重要課題について 2 第2次基本計画策定について 3 子育て世代に寄りそった教育・子育て支援策の充実を 4 教育問題 5 産業振興と雇用拡大問題 6 農業振興策について 7 観光振興について
3月3日(火)	11	科野の会 代表 中村 真一	1 令和2年度 千曲市政経営について 2 「令和元年東日本台風」から市民の安全・安心を守れなかったが
3月3日(火)	12	一志会 代表 小玉 新市	1 新型コロナウイルスについて 2 台風19号災害対策について 3 産業振興について 4 シティプロモーション～千曲市の魅力発信～について 5 地域再生
3月3日(火)	13	自由民主クラブ 代表 和田 英幸	1 千曲市気候非常事態宣言と復興計画について 2 千曲川水系の治水対策と「緊急治水対策プロジェクト」について 3 新型コロナウイルス対応について 4 令和2年度当初予算案の方針と財源確保について 5 令和2年度重点施策と主要施策の諸課題について
3月3日(火)	14	公明党 代表 柳澤眞由美	1 令和2年度予算と防災・減災について 2 千曲市気候非常事態宣言と新年度予算について 3 令和2年度千曲市の教育行政について 4 業務の棚卸しと行政改革について 5 投資的施策について

台風19号からの 復旧・復興計画の策定は

科野の会
代表 中村 眞一



「流域における対策」は千曲川支川において、雨水流出抑制、一級河川等の氾濫抑制や迅速な復旧支援の取り組み等を流域の県や市、地域が進める。

「まちづくり、ソフト対策」は減災の取り組みとして、防災教育、防災知識の普及や情報発信の取り組み等を関係機関が連携して進める。この3つの対策を国や流域である県、市の分担が示された中で策定する。

問 市政において、市民の安心・安全を守ることが第一の責務だと思うが、「第二次総合計画・後期基本計画」での取り扱いは。

内水氾濫を起こした河川の水門、排水樋門等の管理と排水機場の機能アップは、また水門の無い一級河川の浚渫は、答 管理は国・県・市に分かれているが、市が管理する河川、農業用水路、都市下水路等の排水ポンプ場については、検証した上で解決策を探る。また排水機場の機能については千曲川が満水になる「計画高水位」にならない限り、排水作業は可能である。



▲若宮八王子地区の水害

新型コロナウイルス 感染防止策を質す

日本共産党千曲市議団
代表 中村 了治



答 復旧計画は市民が被災前の生活を取り戻すために、被災公共施設等の早期復旧や被災企業、被災農家等への支援が重要であり、より迅速に進められる計画にしたい。復興計画は市民の精神的な安定、活性や元気を取り戻せるまで続けたい。地域産業や地域経済の再生や課題等について市民や有識者等から意見を聞き、心なまちづくりのための設計図を策定していきたい。

予算編成については激甚災害指定を最大限活用して一般財源の支出を極力抑え、先送り可能な事業は先送りし、災害復旧と地域経済活性化に必要な事業を優先して予算付けをしていきたい。

問 新型コロナウイルス感染拡大防止対策について。

答 市民には国、県の正確な情報を迅速に提供し感染予防対策を行ってきた。千曲医師会とは連携を取り、診療体制の確認、情報の共有及び専門家の意見を提供してもらえるよう依頼している。「主催す

答　台風19号は「令和元年東日本台風」と命名されたが、復旧・復興計画の策定方針は、川水系緊急治水対策会議を経て、同1月31日に緊急治水対策プロジェクトの最終とりまとめが発表された。この中で3つの対策プロジェクトの柱とし、「河川における対策」は千曲川対策として、河道掘削や堤防整備、

いるが、今後策定する（第二）次総合計画・後期基本計画の計画期間に及ぶので、緊急治水対策プロジェクトで決めた内容を掲げる。

問 「復旧・復興計画の策定」と地域住民との関わりは。

答 地域説明会など市民と直接対話する機会を設けるほか、市民アンケート調査を実施するなど幅広く市民の参画をいただきながら策定する。

佐野川」等の渾濁は県に状況を説明し、実施を要請する。令和元年12月6日の長野県の「気候非常事態宣言」を受け、12月19日の議会最終日に「気候非常事態」に関する決議（案）を私たちが提出し、全員賛成で議決された。それを受け、3月議会初日、25日に「千曲市宣言文」を採択し、宣言したが、その推進は。

まさに地球温暖化防止と
千曲市議会の議決を重く受け
止め「気候非常事態宣言」を行つた。地球温暖化対策は再
生可能エネルギーの導入、省
エネルギーの推進、ごみ減量、
森林の適正管理等の多分野に
わたることから、部局横断的
に共通の危機意識を持つて
オール千曲で地球温暖化対策
に取り組んでいく。



▲市役所に設置された感染予防のための消毒用器具

問 さうしなの地に相応しい
地域開発を推進してはどう
か。

答 千曲市は「交通の要衝」
である利点を活かして地域に
ふさわしい優良な業種・企業
を積極的に誘致しており、か
ねてから誘致していた大手企
業が立地の意向を固めていた
だいた。今後、食品加工関連
など企業誘致に努め、道の駅

など地域経済活性化につながる施設の整備にも力を入れていきたい。

【その他の質問事項】

- SDGsを取り入れた第2次基本計画策定問題・子育て支援問題
- 教職員の超過勤務解消問題
- 企業の国内回帰への対応問題
- 題・若者の雇用拡大問題・農業振興問題など

千曲川河道掘削を急ぎ 台風シーズンに備えよ

自由民主クラブ
代表 和田 英幸



問 每年冠水する河川敷内の公園やグラウンド利用の一部を国に返納して、浸水被害の

答 市内外から早期の復旧を望む声がある。国の災害査定促進期成同盟会と共に県を経て復旧工事を準備していく。

問 河川敷内の公園、体育施設の復旧計画の方針は。

答 沢山川は千曲川と同じ高さに堤防を整備することが効果的であり、沢山川水害対策促進期成同盟会と共に県を望していく。

問 河川敷内の公園、体育施設の復旧計画の方針は。

答 沢山川は千曲川と同じ高さに堤防を整備することが効果的であり、沢山川水害対策促進期成同盟会と共に県を望していく。

問 河川敷内の公園、体育施設の復旧計画の方針は。

答 市内外から早期の復旧を望む声がある。市の災害査定促進期成同盟会と共に県を経て復旧工事を準備していく。

問 河川敷内の公園、体育施設の復旧計画の方針は。

答 千曲川は毎年増水する可能性がある。「災害に強い安心なまちづくり」を早期に進める。復興計画は秋ごろまでに策定する。

問 雨宮産業団地に巨大調整池が必要ではないか。

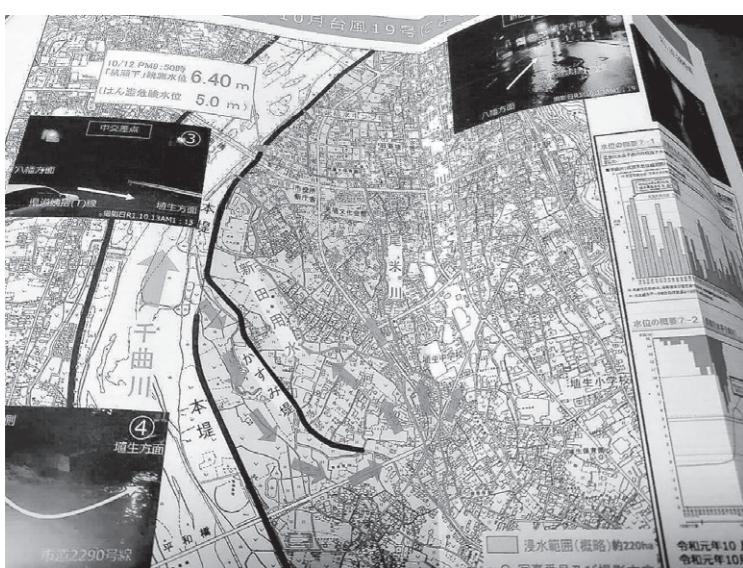
答 千曲川は毎年増水する可能性がある。災害に強い安心なまちづくり」を早期に進める。復興計画は秋ごろまでに策定する。

問 土口水門に排水機場設置を再検討すべきではないか。

答 県の開発許可を受けて開発を進めているので、これ以上措置を民間業者には求められない。

問 土口水門に排水機場設置を再検討すべきではないか。

答 県の開発許可を受けて開発を進めているので、これ以上措置を民間業者には求められない。



▲令和2年台風シーズン前に浸水被害を防ぐ対策

シティプロモーションについて

一志会
代表 小玉 新市



問 口ヶツーリズムの経済効果、実績、これから課題はどうなものがあるか。

答 市では、シティプロモーションの一環でロケツーリズム事業を推進しているところである。令和元年の経済効果としては、映画2本が撮影され、ロケ関係者の宿泊費や飲食費などの直接経済効果は240万円余りになる。

撮影場所を訪問する聖地巡礼者などにおける来訪者をしたところ、大多数が県外の方々で200名を超えている。

撮影契約書について、制作者と市では、撮影契約書は取り交わしてはいないが、撮影前には必ず地元住民をはじめ関係団体等と合意形成をする中で、ロケ地提供者と撮影者が「撮影規約」を取り交わしている。

平成30年度の撮影の実績は、映画4本「ソローキンの見た桜」「4月の君スピカ」「ファンシー」「透子のセカイ」、ドラマ2本「日本ボロ宿紀行」「荒野の証明」であった。ロケ地マップの作製については、上映された映画「4月の君スピカ」、現在上映さ

問 千曲市気候非常事態宣言と復興計画について

答 千曲川増水は毎年起ることを前提とした復興計画が必要だ。

答 千曲川は毎年増水する可能性がある。「災害に強い安心なまちづくり」を早期に進める。復興計画は秋ごろまでに策定する。

問 雨宮産業団地に巨大調整池が必要ではないか。

答 千曲川は毎年増水する可能性がある。災害に強い安心なまちづくり」を早期に進める。復興計画は秋ごろまでに策定する。

問 土口水門に排水機場設置を再検討すべきではないか。

答 県の開発許可を受けて開発を進めているので、これ以上措置を民間業者には求められない。

問 土口水門に排水機場設置を再検討すべきではないか。

答 県の開発許可を受けて開発を進めているので、これ以上措置を民間業者には求められない。

問 心配のない河川敷外へ移す考えはないか。

答 市内には地滑りなどが危惧される山間部が多く、必要な面積を確保できる土地がない。

問 今後造成する産業団地内に公園やグラウンドを進出企業と協議できないか。

答 未利用の工業団地も含めて企業側と連携を図れるか研究する。

問 千曲川水系の治水対策について

答 千曲川が満水にならない限り現状のポンプ性能で十分にして水門を開めなければならぬ。復興計画において両水門の排水機改修を入れるべきではないか。

問 伊勢宮川及び尾米川の水門排水機場は、千曲川の水位が5mを越えると排水を停止しない。復興計画において両水門の排水機改修を入れるべきではないか。

答 千曲川が満水にならない限り現状のポンプ性能で十分にして水門を開めなければならぬ。復興計画において両水門の排水機改修を入れるべきではないか。

問 新型コロナウイルスの小中学校・保育園の感染拡大防止の対応は。

答 新型コロナウイルスの感染の流行を早期に終息させるために、小中学校は春休みまで臨時休校、卒業式は規模を縮小して実施、入学式は今後の様子を見て対応する。保育園については、原則開園する。

問 新型コロナウイルスの中学校・保育園の感染拡大防止の対応は。

答 ご指摘のとおり、河川敷内に存在する民有地は治水の観点から早期に河川管理者の管理とすべきであり、すでに国に要望している。

問 中学校・保育園の感染拡大防止の対応は。

答 ご指摘のとおり、河川敷内に存在する民有地は治水の観点から早期に河川管理者の管理とすべきであり、すでに国に要望している。

問 新型コロナウイルスの中学校・保育園の感染拡大防止の対応は。

答 ご指摘のとおり、河川敷内に存在する民有地は治水の観点から早期に河川管理者の管理とすべきであり、すでに国に要望している。

一般質問(個人)

10名が 市政を問う！

令和2年度 防災・減災対策と希望



公明党

代表 柳澤 真由美

千曲市の復旧・復興計画について

台風19号による災害は、教訓として後世に残す義務がある。水害要因の分析、水路の管理、被災者支援、情報伝達、元の生活に戻す手立て等、災害に対し「我がこと」の意識で振り返りは十分か。
答 職員が「我がこと」として災害に関する業務の振り返りを行い、反省点や改善の提案を出し、各地区でも意見交換をした。それらを復旧・復興計画や地域防災計画、防災ガイドブックの改訂に生かしていく。また、災害記録の作成準備も進めており、時系列での対応表や図面などに取り入れていく。

希望が湧く復興計画を策定するため、女性が5割参加する復興協議会を立ち上げ、多くの市民の声、アイディアを策定委員会に反映させるべきだ。また、市民の命や車を守る施設、非常時には避難所として平時には市民が集まる働く場になる施設を計画しては如何か。

■千曲市気候非常警報 宣言について



▲浸水被害を受けた保育園の仮園舎が旧更埴庁舎に建設され、分散保育がようやく解消される杭瀬下保育園

太陽光発電・熱利用普及のため、信州ソーラーポテンシャルマップを活用し、再生エネルギー自給率を向上させないか。また、環境省の補助制度改修に活用する等、脱炭素社会構築のため新たな取り組みを考えないか。

答 マップ活用は周知を図り、市有施設に太陽光発電を検討等太陽光・太陽熱の利用普及を推進、ZEBは研究する。

日程	掲載頁	氏名	通告事項
3月4日(水)	16	宮入 高雄 (千曲政経会)	1 治水対策について 2 高齢者就労支援の取組みについて
	16	袖山 廣雄 (千曲政経会)	1 防災・減災について 2 森林の現状認識と対策について
	17	金井 文彦 (科野の会)	1 岡田市政7年「千曲市は変わったか」
	17	滝沢 清人 (公明党)	1 令和元年東日本台風災害を教訓とした防災・減災対策について 2 「企業版ふるさと納税」の積極的な活用について 3 高齢者の生活の足支える「小型モビリティ」への支援を 4 SDGs を活用した市政への組込みについて
	18	飯島 孝 (科野の会)	1 第二次総合計画について 2 資産の有効活用について 3 資産の合理的な運用について
3月5日(木)	18	北川原 晃 (千曲政経会)	1 令和2年度予算編成について 2 復旧・復興計画について 3 教育環境の充実と教員の働き方改革について
	19	林 愛一郎 (自由民主クラブ)	1 国道18号バイパスと都市計画道路一重山線の事業化に全力を 2 更埴子育て支援センターの拡張を
	19	前田きみ子 (日本共産党千曲市議団)	1 国民健康保険について 2 高齢者、障害者対策について
	20	齋藤 正徳 (日本共産党千曲市議団)	1 千曲市都市宣言について 2 防災・減災対策と地域経済活性化について 3 子どもの貧困対策について 4 千曲市の教育について
	20	大澤 洋子 (無会派)	1 水道民営化は進行しているのか 2 姨捨観光会館指定管理の問題 3 市民との対話による協働のまちづくりを 4 有機農業振興へ



飯島 孝

千曲市の将来をどうするのか 考えたとき

問 子育て支援事業で人口減少を食い止める為には、他市の施策と比べてどうか。当市の支援事業がわかりやすいパンフレットの作成をしては。

答 「第2期子ども・子育て支援事業計画」に基づき各種施策を、令和2年度には更に充実し、特に若い世代の希望をかなえる結婚新生活支援事業や連携中枢都市圏結婚支援事業等の婚活事業、母子保健・子育てサービスの提供をし、子ども家庭総合支援拠点を充実していく。加えて千曲市には無い支援事業や、効果が見込めると思われる他の市の施策を参考しながら導入をしていく。またパンフレットの件は、PR度の高いものを作成し、移住・定住に繋げていけるものにする。

問 おおとりプラザプールについて、経費を抑え収入が上がる方法の提案をしたがどうか。通年使用が出来るプールを市の目玉として宣伝は。今後の考えは。

答 民間委託等、様々な検討をしたが、年間2千万円以上の経費負担、提案の内容を実施しても継続



▲通年利用できるプールであってほしい

できる収入の確保は難しい。また、屋内プールとしての継続は老朽化の箇所が多く多額の費用がかかり宣伝の目玉にできない。今後は活用、運用方法を研究、検討していく。

問 水道事業の現状、アウトソーシングへの考え方、将来的の水道事業運営は。

答 現在は料金徴収、滞納整理、検針窓口業務を外部委託している。経営権については市で管理する。運営権を民間に売却できる方法は現在考えていない。将来は長野県企業局との広域連携について積極的に取り組んでいく。



北川原 晃

市の将来のために 成し遂げるべき政策は

問 千曲市の将来のために、これだけは成し遂げたい政策は何か。

答 屋代地区の大規模開発や雨宮産業団地、八幡東産業団地は、市の将来にとって極めて有益な事業である。そのため県から内田副市長をお迎えした。事業実現にしつかりと取り組んでいく。

問 市が指定した立地適正化計画に基づく「居住誘導区域」が浸水被害を受けた。安心して住める対策は。

答 今回のような市街地浸水が起きることがないよう、今後進められる国の治水対策プロジェクトとの連携や霞堤から市街地に水が流れ込まないよう、トンパック(1トン土嚢)の設置など、地域の安心全安心を構築する。

問 市長の「霞堤の閉鎖案」は。

答 一定規模の遊水機能を確保した上で、霞堤の外周に堤防等の構造物を作り、霞堤は閉鎖する考え方だ。既に千曲川河川事務所に要望し、概ねご理解をいただいている。

問 河川敷のマレットゴルフ場や野球場は大雨のたびに流失、損壊されることが多い。

答 河川敷のマレットゴルフ場や

野球場は大雨のたびに流失、損壊

し、お金と時間をかけて改修している。この際、安全な場所に造るべきでは。

答 山手の公園・スポーツ施設は災害を受けにくい利点があるが、市内に必要な面積を確保する場所がない。

問 小中学校に30人学級の導入は。

答 1学級の人数を少なくすることは教職員の働き方改革につながり、児童一人ひとりへの丁寧な指導や支援が可能になるなどプラス面は多いと認識している。しかし財政面や教員の確保などの理由から導入は難しい。

し、お金と時間をかけて改修している。この際、安全な場所に造るべきでは。

答 山手の公園・スポーツ施設は災害を受けにくい利点があるが、市内に必要な面積を確保する場所がない。



林 愛一郎

幹線道路の事業化に全力を

問 合併支援道路千曲線の整備により、寂崎・五加地区の企業進出と人口増加が顕著なことから、道路行政は企業誘致の核となると考えるがいかがか。

答 千曲線の開通により、沿線地区の人口は平成27年との比較で約3%増加しており、商業施設の集積も顕著であることから、幹線道路の整備は産業振興や人口増加に大きく寄与するものと考える。

問 現在、大規模な開発計画が進行中の雨宮・屋代・八幡東地区を連結する幹線道路整備が必須であると考える。

答 特に八幡地区は離れているので、屋代地区と最短で結ぶ都市計画道路一重山線の打沢交差点への路線変更と早期事業化を全力で取り組むべきと考えるがいかがか。

問 都市計画道路一重山線は、ご指摘のとおり屋代地区と八幡地区を結ぶ最短連絡路となるので、打沢交差点への線形変更を行い、早期の事業化を目指したい。

答 合併支援道路千曲線の整備により、寂崎・五加地区の企業進出と人口増加が顕著なことから、道路行政は企業誘致の核となると考えるがいかがか。

答 千曲線の開通により、沿線地区の人口は平成27年との比較で約3%増加しており、商業施設の集積も顕著であることから、幹線道路の整備は産業振興や人口増加に大きく寄与するものと考える。

問 現在、大規模な開発計画が進行中の雨宮・屋代・八幡東地区を連結する幹線道路整備が必須であると考える。

答 特に八幡地区は離れているので、屋代地区と最短で結ぶ都市計画道路一重山線の打沢交差点への路線変更と早期事業化を全力で取り組むべきと考えるがいかがか。

答 合併支援道路千曲線の整備により、寂崎・五加地区の企業進出と人口増加が顕著なことから、道路行政は企業誘致の核となると考えるがいかがか。

答 千曲線の開通により、沿線地区の人口は平成27年との比較で約3%増加しており、商業施設の集積も顕著であることから、幹線道路の整備は産業振興や人口



齋藤 正徳

気候非常事態宣言と戸別受信機設置は

問 2016年に市が定めた温室効果ガス排出量の削減目標を達成する見通しは。市は「2025年に〇5年度比で20%（9万トン）削減する」と設定しているが。

答 市のCO₂排出量の現況推計値は、2005年度は46万1225トン、2016年度は43万3109トンとなつており、削減率は約6%である。

排出量は減少傾向にあるが、目標達成には今まで以上に市や市民の努力が必要である。次年度では、市民の地球温暖化に対する知見や意識の向上を図ることを目的に、シンポジウムや勉強会も開催していく。

問 松本市は「世界首長誓約／日本」に署名したがこれをどう評価するのか。

答 市は現行計画の削減目標を目指すが、県と歩調を合わせ、地球温暖化対策を推進する。市のCO₂排出量の推計値は、進捗状況を公表することにより、市民の意識上の削減を目指す考えは。

また千曲市の温室効果ガス排出量目標は国と同レベルだが、国以上に署名したがこれをどう評価するのか。

問 防災行政無線の戸別受信機の希望者全戸配布は。

答 指定避難所、要配慮者利用施設及び災害時避難行動要支援者の希望者に戸別受信機を設置する。学校や公民館等の指定避難所には既に設置を完了した。希望者全戸への戸別受信機無償貸与は多額の費用を要するため困難である。



▲戸別受信機の設置が進む防災行政無線



大澤 洋子

信州千曲を有機農業の里に

問 有機農業への関心が高まっている。昨年は「持続可能な農業国際シンポジウム」が長野市で開催された。今世界で有機農業が主流になつているとの報告。国連食糧農業機関は、有機農業を推進。欧州では、SDGsや地球温暖化への危機感を背景に、有機農業を実践する小規模家族農家の育成に向けた農政転換が進んでいるとのこと。日本では有機農業の推進に向けた農政転換が進んでいた。有機農業振興について市の方針は。

答 消費者の食の安全志向や、山林や農地が持つ多面的機能に対する理解の高まりとともに、環境にやさしい農業への関心も広まっています。また、堆肥による土づくりを基本とし、化学的に合成された肥料や農薬、遺伝子組み換え技術を使わない有機農業も注目されている。市では、農業生産に由来する環境への負担を軽減し、農業の持続性の保持や生態系との調和、地球温暖化防止を図るために有機農業を含めた環境に配慮した学んだ。



問 環境保全型農業の推進は。

答 自然の生態系本来の力を利用する農業で、食料・農業・農村基本計画に沿つて、農業者及び消費者への啓発を行う。

問 エシカル消費の啓発を望むが。

答 人や社会、環境に配慮した消費行動であるエシカル消費の理念を広く周知しその行動を促進していく。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



▲横浜市での視察の様子



▲静岡市議会議場にて

委員会視察調査報告

総合計画及び公共施設再編特別委員会

1月20日～21日、静岡市と横浜市を視察調査した。

静岡市では、「世界に輝く静岡の実現」を目標に、平成30年、国から「SDGs未来都市」の選定を受け、積極的にSDGsの視点を取り入れた第3次総合計画を策定していた。

横浜市でも、平成30年、国から「SDGs未来都市」の選定を受けた。2019年をピークに横浜市も人口減少に転ずることが見込まれたので、この状況を転機としてSDGsの視点を組み入れた中期4か年計画を策定した。

全国的にはまだSDGsは広く認知されていないが、両先進市のようない後、どの自治体でも諸計画策定時にはSDGsの視点は欠かせない。

10月に予定していた視察は、東日本台風のため延期し、令和2年1月28～30日に行政視察を実施した。

兵庫県相生市は、子育て応援施策「11の鍵」として、定住促進事業をおこなっている。住宅取得奨励金、幼小中の給食費無料など、人口減少を食い止める先進的な事業を学んだ。

岡山県笠岡市にあるリサイクルセンター工場では、廃プラスチックを取り扱った、廃棄物の資源化で「循環型社会」について学んだ。



▲水島エコワーカスでの視察の様子



▲相生市での視察の様子

「先進地の取り組みを視察・調査しました！」



議会日誌

12月定例会終了後から3月定例会までの議会活動の紹介です。

12月

26日 埼玉県川口市議会視察来市

1月

9日 総務文教常任委員会
10日 議会広報特別委員会
15日 東信5市議会議員研修会
議会広報特別委員会
16日 市町村アカデミー参加(大澤議員)(～17日)
20日 総合計画及び公共施設再編特別委員会視察
調査(～21日)
21日 第163回長野県市議会議長会総会
22日 議会全員協議会
長野県地方自治政策課題研修会

24日 総合計画及び公共施設再編特別委員会
宮城県大崎市議会視察来市
27日 企業等誘致推進特別委員会
28日 福祉環境常任委員会行政視察(～30日)
29日 建設経済常任委員会
公明党(柳澤議員)視察研修
31日 茨城県筑西市議会視察来市

2月

3日 公明党視察研修
4日 国道18号バイパス中央要望(国土交通省他)
5日 六ヶ郷用水組合議会定例会

今月号の表紙は……

コロナ禍を吹き飛ばせ～森のあんず～

杏が平年より1週間ほど早く開花しました。1971年の観測開始以来最も早い開花となりました。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、第65回あんず祭りは中止となり、淋しい限りです。しかし淡いピンクの清楚な花を楽しみに、マスクをした家族連れが三々五々散策していました。生産農家は花よりも、遅霜や6月前後の干ばつの影響を早くも心配しています。気候変動を乗り越えて、杏の里の景観を後世に残して行きたいものです。



2月

6日 長野広域連合議会運営委員会
12日 千曲坂城消防組合議会定例会
13日 葛尾組合議会定例会
公明党(滝沢議員)視察研修
14日 長野広域連合議会定例会
18日 議会運営委員会
議会広報特別委員会
19日 千曲政経会・一志会視察研修(～20日)
21日 千曲衛生施設組合議会定例会
25日 議会全員協議会
令和2年度第1回(3月)議会定例会開会

3月

2日 議会全員協議会
議会運営委員会
一般質問(代表)
3日 一般質問(代表)
4日 一般質問(個人)
5日 一般質問(個人)・議案審議
6日 総務文教常任委員会
9日 福祉環境常任委員会
10日 建設経済常任委員会
13日 総合計画及び公共施設再編特別委員会
16日 議会運営委員会
令和2年度第1回(3月)議会定例会閉会



～全国から千曲市に～

・行政視察・

*千曲市議会では、市で行っている各種事務事業について、全国の議会関係者の皆様からの行政視察の受け入れをしています。令和元年度は6市の議会の方々が、当市議会を通じて訪れ、視察されました。

月 日	議 会 名	調 査 内 容
5月 8日	千葉県君津市議会	住宅の耐震化促進事業について
8月 22日	新潟県村上市議会	家庭教育支援条例について
10月 3日	福井県鯖江市議会	千曲市観光戦略について
12月 26日	埼玉県川口市議会	健康寿命延伸事業について
1月 24日	宮城県大崎市議会	病児・病後児保育事業について
1月 31日	茨城県筑西市議会	災害対応について

令和2年第2回(6月)千曲市議会定例会予定

【6月】

1日	(月)	本会議	開会
8日	(月)	本会議	一般質問(個人)
9日	(火)	本会議	一般質問(個人)
10日	(水)	本会議	一般質問(個人) 議案審議
11日	(木)	委員会	総務文教常任委員会
12日	(金)	委員会	福祉環境常任委員会
15日	(月)	委員会	建設経済常任委員会
18日	(木)	本会議	委員長報告・討論 採決・閉会

議会を傍聴してみませんか

議会活動を知る方法の一つに傍聴があります。議会だよりでは伝えることできない議会や議員の活動をることができます。

新しい議場へ是非お出掛けください。



※議事の都合により、日程が変更される場合がありますのでご了承ください。

市民の声



高橋 愛さん
(栗佐)

「議会・市政に關すること」を
テーマに寄稿いたしました。

保育の現場

現場で思う事、千曲市においても潜在的な待機児童はいます。そして待機児童問題の解決は、子どもを幼稚園・保育園・認定こども園に入れたから良いという訳ではありません。今は、保育士不足が問題であり、子どもの保育環境を整えるのは良いことですが、保育者の待遇及び働きやすい保育環境に目を向け、現場の声に耳を傾け、本当の意味での保育・教育環境を考えいただきたいと思います。離職する保育士さんを一人でもなくし、千曲市の子供たちの明るい未来のために、子ども一人一人に目を向けたゆとりある豊かなものとなるよう願っています。

弱い立場の人による添う行政を



田島多美子さん
(上山田)

新庁舎が完成し、更埴、戸倉、上山田のすべての機能が一か所にまとめられました。上山田庁舎は閉店、頼みの戸倉庁舎までもが、3月でまさかの完全閉店となりました。新庁舎が完成するという事はこういう事だつたのだと愕然としました。2月の申告相談では、戸倉庁舎に臨時会場が設けられ「良かった！」も束の間、10時でその日の受付は終了です。離れて生活する市民にとって、機能を統一することのメリットとは、一体何なのでしょう。益々、高齢化が進む中『戸倉地区に一か所、上山田地区に一か所、拠り所となる連絡所』が切実な願いです。

今、新型コロナウイルス感染症の脅威に、日本中の人々がさらされています。

このような緊急事態の中、市民の皆様には心身ともにご負担をおかけしておりますが、ご自身や大切なひとの命を守るために、すべての方に、できる限りの対策をとっていただくことを強くお願ひいたします。

市議会においても、皆さまの不安を取り除き、健康で安心できる社会生活を送れるように、市へ提言書を提出するなど、新型コロナウイルス感染症対策に全力で取り組んでおりますので、ともにこの難局を乗り越えましょう。

千曲市議会

編集後記

2月25日開会の3月議会から今日までの間、日々新型コロナ感染拡大が酷くなり、学校の休校、イベント中止、外出の自粛、宿泊・飲食業のキャンセルなど、市内地域経済は危機的な状況です。議会は岡田市長に緊急提言を提出。私達もこれまで以上に皆様のお声をお聞きし働いてまいります。

議会広報特別委員

委員長	滝沢 清人
副委員長	正徳 斎藤 新市
委員	小玉 愛一郎
	大澤 洋子
	倉島さやか
	北川原 晃
	金井 文彦

千曲市議会だより

発行／長野県千曲市議会 TEL 026(272)0199(直通) FAX 026(272)0765
ホームページ <http://www.city.chikuma.lg.jp> E-mail : gikai@city.chikuma.lg.jp
発行責任者／千曲市議會議長 萩原光太郎 編集／議会広報特別委員会
印刷／寺澤印刷(千曲市大字八幡 2069番地7)

●千曲市議会だよりは、地球環境に配慮して再生紙(古紙配合率70%の再生紙)を使用しています。